3月NEWS

① 税制会計情報

いよいよ消費税増税まで1ヶ月となり、家電量販店では増税前に電化製品の買い替えをという駆け込み需要が増え、スーパーなどでは日用品・お酒などのケース買いが盛況のようです。

自動販売機やバスの運賃、あらゆるものの販売価格が増税に伴い、上がります。この消費税増税が家計に与える影響は、年収が300万円未満世帯で平均57,529円、1,000万円以上の世帯で142,147円増加するという試算がでております。

消費税増税が家計に与える影響は、低所得者層の方がより負担が重くなると予想されており、厚生労働省は、消費税増税に伴う家計負担の軽減策として、低所得者などに「臨時給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」を支給することを決定しました。

(1) 臨時福祉給付金

給付対象者：市町村民税（均等割）が課税されていない者

但し、市町村民税（均等割）が課税されている者の扶養者、生活保護制度内で対応される被保護者などは除く

給付額：1人1万円

高齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金の受給者等、児童扶養手当の受給者特別障害者手当の受給者などは、1人につき5千円を加算

手続き・支給ともに1回のみ

(2) 子育て世帯臨時特例給付金

給付対象者：基準日（H26.1.1）におけるH26年1月分の児童手当（特例給付を含む）の受給者であって、そのH25年の所得が児童手当の所得制限額に満たない方

対象児童：支給対象者のH26年1月分の児童手当の対象となる児童を基本とし、臨時福祉給付金の対象者及び生活保護の被保護者を除く

給付額：1人1万円

手続き・支給ともに1回のみ

いずれも、申請手続きは基準日時点の住所地の市町村に対して行うものです。
 申請手続き、書類については、現在準備中ということですので、支給対象となる方は、今後の各自治体のお知らせを確認し、申請を行ってください。

② 3月の主な税務

3月の申告や提出の主なものは以下の通りですのでご確認ください。

提出期限等	内容
3月10日	2月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付
3月17日	25年分所得税の確定申告
3月17日	個人の青色申告の承認申請
3月17日	25年分贈与税の申告
3月17日	個人の都道府県民税、市町村民税、事業税、事業所税の申告
3月31日	個人事業者の25年分の消費税・地方消費税の確定申告
3月31日	1月決算法人の確定申告
3月31日	1月、4月、7月、10月決算法人・個人事業者の3月ごとの期間短縮に係る確定申告
3月31日	法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告
3月31日	7月決算法人の中間申告
3月31日	消費税の年税額が400万超の4月、7月、10月決算法人の3ヶ月ごとの中間申告
3月31日	消費税の年税額が4,800万超の12月、1月決算法人を除く法人の1ヶ月ごとの中間申告（11月決算法人は2ヶ月分）

③ スタッフの一言

すこしずつ春らしい天気になってきて、花粉症の方にはつらい季節となってきました。

インフルエンザなどもまだ流行していますので、体調管理には気を付けて、梅見や花見に備えましょう♪

山口